

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)LOGI LAND東大阪	階数	地上4F
建設地	大阪府東大阪市布市町一丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年3月1日
敷地面積	8,278 m ²	作成者	西松建設(株) 仁尾
建築面積	4,094 m ²	確認日	2021年3月1日
延床面積	16,332 m ²	確認者	西松建設(株) 仁尾



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	可能な限り南西交差点より後退させ、計画地周囲には中高木を植樹することで、建築物のボリュームを抑え、周辺への圧迫感軽減に配慮した。室内環境においては、階高が高く、床荷重のゆとりも確保し、多様な用途に対応可能な空間としている。	その他 特になし
Q1 室内環境	各仕上材料にはF☆☆☆☆を使用することで、室内空気室に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り南西交差点より後退させ、計画地周囲には中高木を植樹することで、建築物のボリュームを抑え、敷地境界部には透視性の高いメッシュフェンスを設置し閉塞感が無いよう配慮した。
LR1 エネルギー	全館LED照明を採用することで省エネルギー性に配慮した。	LR3 敷地外環境 可能な限り緑地を確保し、温熱環境に配慮した。十分な駐車台数を確保し、計画地周辺の交通負荷抑制に配慮した。
Q2 サービス性能	天井高さを高く確保することで圧迫感のない空間づくりに配慮した。またOAフロアを採用することでフレキシブルなレイアウト空間を計画した。	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器等の器具、リサイクル材を採用し、資源利用に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0152

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)LOGI LAND東大阪						
	建設地	大阪府東大阪市布市町一丁目						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							